

えのさわ吉克県議会レポート

発行／自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13 電話043(227)7411

老朽化した建築物 改善命令や「空家法」で代執行も



2月県議会一般質問に登壇

本会議場に登壇した江野澤県議

昨年、県内でも、いわゆる「空家法」などに基づき、老朽化して倒壊の危険のある建築物について、所有者に代わって市が行政代執行により解体したという報道が2件ありまし

た。危険な建築物に対して、県はどのように対応するの

か。

都市整備局長 県では、建築基準法に基づき、老朽化して危険な建築物の所有者に対して、改善措置を取

るよう指導しています。

要望 県は、老朽化した危険な建築物の所有者に対して、積極的に法的な措置を取るなど、市町村とも連携して万全な対応をするよう要望します。

指導を行っても改善が進まず、通行人等の第三者に被害が及ぶ危険が切迫するなど、著しく保安上危険な建築物については、危険を除去するため必要な措置を取るよう、同法に基づく措置命令を行うこととしています。

なお、建築物が空き家の場合、「空家等対策の推進に関する特別措置法」(空家法)に基づき、市町村が除却修繕等を勧告、命令することができるとされていますので、状況に応じて市町村とも連携しながら、安全性の確保に努めてまいります。

年度の供用に向け、事業の推進に努めてまいります。
千葉鴨川線高谷工区は、先日公表された「道路整備の開通目標」で、平成31年度の開通とされています。地元が早期整備を待ち望んでいる事業ですので、この開通目標に遅れることないよう、着実に進めていただくことを要望します。

都市計画道路の進捗

江野澤議員 都市計画道路 西内河根場線及び中野畑沢線は、6月議会「9月ごろから事業着手する予定」との答弁がありました。この路線は、袖ヶ浦市と木更津市の連携強化を図るだけでなく、東京湾アクアラインに直結し、より広域的な交流が見込まれ、各市のまちづくりにも大きく寄与することから、早期整備が強く望まれています。そこで、同都市計画道路の進捗状況はどうか。

今年度には事業着手し、橋梁や道路の詳細設計を実施するとともに、用地取得に向けて地権者の方々と交渉を始めているところです。

今後、用地取得の本格化に当たり、地元市も協力するということなので、市と十分連携して進めていただきたい。また、側道については、地元の意見を十分に確認し、広域的な視点だけでなく、地元の皆様にも使い勝手の良い道路整備を要望します。

江野澤議員 私の地元、袖ヶ浦市を通過する主要地方道千葉鴨川線は、国道410号と一体となり、南房総地域とを結ぶ重要な道路です。県道千葉鴨川線高谷工区の進捗状況はどうか。

これまで、用地の確保はすべて完了しており、今年度は函渠工事や路盤工事などを実施しているところであり、引き続き、平成31

県土整備部長 同工区は、現道の渋滞対策や館山自動車道とのアクセス強化のため、袖ヶ浦市上泉地先から高谷

県土整備部長 西内河根場線及び中野畑沢線は、昨年7月に開通した高須箕和田線と接続し、袖ヶ浦駅

法的措置を提案

江野澤議員 最近、他

元の袖ヶ浦市でも、JR長

浦駅に近接した幹線道路沿

いに、老朽化して放置された空きビルがありますが、近隣住民から早急な改善を求める声が上がっています。

江野澤議員 最近、他元の袖ヶ浦市でも、JR長浦駅に近接した幹線道路沿いに、老朽化して放置された空きビルがあり、近隣住民から早急な改善を求める声が上がっています。

市内の道路問題で要望

障害者スポーツ振興を求め!

東京パラ選手掘り起こしも

江野澤議員 障害のある方が自分らしく生き生きと生活していくことができるようにするためには、日常生活の支援だけでなく、いつでもどこでもスポーツに親しめる環境を整備することは大変重要です。そこで伺います。障害者スポーツの振興の取り組みはどうか。

森田知事 身障者スポーツの振興は、障害のある人の自立と社会参加を促し、県民の障害のある人への理解を深めるため重要な要素と考えています。県では、障害者スポーツ大会の開催や、県内の障害者スポーツの拠点となる障害者スポーツ・レクリエーションセンターの運営など、障害のある人がスポーツに参加する機会を広げるとともに、スポーツ指導員の養成などにも取り組んできました。また、東京パラリンピックに向けて、選手の掘り起こしのための競技体験会を開催するほか、障害者アスリートの強化・支援を行う部会を千葉県障がい者スポーツ協会に設置し、競技組織の体制整備を図っています。

要望 地域において、障害のある方がスポーツに参加する機会を広げるためには、市町村との連携は欠かせないものです。県内全域で障害のある方が、スポーツに親しめる環境が整備されるよう、しっかりと市町村に働きかけていただきたい。



メモを手に再質問する江野澤県議

陸稲栽培の可能性

江野澤議員 本県の稲作は、農業産出額において重要な品目となっています。しかし、生産農家の高齢化は著しく進展し、米価も長期的に右肩下がりの状況にあります。

一方、畑地を利用した陸稲栽培は、育苗、田植え、水管理の必要がありません。陸稲栽培の特性を生かした栽培技術が確立されれば、大

幅なコスト低減を図れるのではないのでしょうか。そこで、伺います。陸稲栽培の特性を生かした振興方策を検討すべきと思うかどうか。

農林水産部長 陸稲は、水稲に比べて収量が少なく、安定しないほか、買い取り価格が安いなどの理由から、県内では昭和30年に1万ヘクタールだった作付面積が、平成28年には31ヘクタールと、ピーク時の0・3%まで減少しています。一方、水稲と同じ機械が利用できる、野菜などの輪作による連作障害の軽減効

江野澤議員 国際的には、ミンクジラなど大型の

果があるなどのメリットもあることから、県内の一部地域で作付けされています。国の陸稲研究は、平成17年度をもって終了するなど、陸稲栽培の振興を図っていくことが難しい環境にありますが、県としては生産農家の意向や、国、他県の実況を踏まえながら、対応してまいります。

江野澤議員 イノシシによる農業被害を減少させるためには、捕獲だけでなく、併せて防護や生息環境管理などにも取り組んでいく必要があると思います。県が30年度から実施する「イノシシ等野生獣対策モデル事業」とは、どのようなものか。また、この中で任期付き職員の出向はどうか。



野生獣対策モデル事業

江野澤議員 国際的には、ミンクジラなど大型のクジラは、国際捕鯨委員会で商業捕鯨を一時停止する

環境生活部長 同事業は、野生獣による被害を軽減するために、県中南部のいくつかの集落で、地域ぐるみで捕獲・防護・生息環境管理の総合的な対策に取り組むものです。この中で、任期付き職員

江野澤議員 イノシシによる農業被害を減少させるためには、捕獲だけでなく、併せて防護や生息環境管理などにも取り組んでいく必要があると思います。県が30年度から実施する「イノシシ等野生獣対策モデル事業」とは、どのようなものか。また、この中で任期付き職員の出向はどうか。

江野澤議員 イノシシによる農業被害を減少させるためには、捕獲だけでなく、併せて防護や生息環境管理などにも取り組んでいく必要があると思います。県が30年度から実施する「イノシシ等野生獣対策モデル事業」とは、どのようなものか。また、この中で任期付き職員の出向はどうか。

要望 陸稲栽培は、難しい環境にありますが、研究への取り組みをお願いいたします。陸稲の品種改良についても検討していただき、県の農林総合研究センターの取り組みだけでなく、植物ゲノムの解析で大きな成果を挙げてください。かずさDNA研究所との連携についても検討していただくよう、要望します。

江野澤議員 国際的には、ミンクジラなど大型のクジラは、国際捕鯨委員会で商業捕鯨を一時停止する

農林水産部長 国が発表した「平成28年度国際漁業資源の現況」によると、わが国の周辺海域において調査対象としている主なクジラの資源状況は、

農林水産部長 国が発表した「平成28年度国際漁業資源の現況」によると、わが国の周辺海域において調査対象としている主なクジラの資源状況は、

農林水産部長 国が発表した「平成28年度国際漁業資源の現況」によると、わが国の周辺海域において調査対象としている主なクジラの資源状況は、

モラトリアムが採択され、商業捕鯨が中断していることにより、クジラが増えていると聞いています。クジラはプランクトンのほか、サンマ、サバ、カタクチイワシなどの魚をたくさん食べることで知られており、海洋生態系への影響が心配されているところと、クジラが捕食するこれらの魚は、本県の漁業者にとっても重要な水産資源であることから、伺います。クジラ資源の推移等の状況はどうか。



クジラは、国際捕鯨委員会で商業捕鯨を一時停止する

農林水産部長 国が発表した「平成28年度国際漁業資源の現況」によると、わが国の周辺海域において調査対象としている主なクジラの資源状況は、

農林水産部長 国が発表した「平成28年度国際漁業資源の現況」によると、わが国の周辺海域において調査対象としている主なクジラの資源状況は、

江野澤議員 クジラが増えることでの海洋生態系への影響とそれに対する県の考えはどうか。

における資源量は、約2万頭で、資源水準は中位から高位。その動向は増加傾向となります。



執行部席を横に質問する江野澤県議